

政策の風『りんどう』

第1号 発行 令和2年4月20日

蒲島氏県政初 4 選



コロナ禍 投票率低下 45%

任期満了に伴う知事選は3月22日投票、即日開票され、無所属現職で、熊本県歯科医師連盟及び日本歯科医師連盟推薦候補の蒲島郁夫氏（73）が無所属新人で元熊本市長の幸山政史氏（54）を大差で退け、県政史上初の4選を果たした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、投票率は45.03%で、前回は5.98ポイント下回った。

平成28年の熊本地震後に、初めて迎えた知事選。蒲島氏は「熊本地震からの創造的復興を50年、100年先の発展に繋げたい。4年間、県民のためにつくしたい」と抱負を語っていた。新型コロナウイルス感染症の拡大で、蒲島氏は公務を優先し、選挙カーによる街宣、辻立ちや集会などを中止し、どぶ板選挙となった。選挙戦は蒲島氏が掲げる熊本空港へのアクセス鉄道計画や多選の是非、復興の進め方が争点となった中、蒲島氏は「4期目で創造的復興の総仕上げに取り組む」と主張し、空港民営化に伴う利用者増に対応するとして鉄道建設の必要性を強調し、「他の交通手段より定時に早く大量の人を運べる。県民負担の最小化も図る」と訴えていた。自民党県連や公明党県本部の支援を受け、連合くまもとや県農業者政治連盟など200団体の推薦を受けた。

熊本県歯科医師連盟も令和元年11月には、推薦候補として機関決定し、さらに熊本県歯科医師連盟からの推薦で、日本歯科医師連盟からの推薦も受けた。今年1月6日には、新年の挨拶回りで、蒲島知事を伊藤連盟会長（本会会長）、樺本会副会長、牛島連盟理事長（本会専務理事）、田原事務局長が訪問した際も、「静岡はお茶日本一、熊本は歯の健康で日本一にしましょう」と述べていただけけるなど、これまでの県政においても、自民党県連とともに、歯科医療政策に大変理解を示していただき、それが小中学校におけるフッ化物洗口の100%実施をはじめ、さまざまな委託事業や基金事業につながった経緯もあり、日本歯科医師連盟では、重点候補としての推薦も頂いた。

熊歯連盟だよりは「政策の風『りんどう』」と名称を変えて再開します。

令和2年4月より 年3回発行予定

熊本県歯科医師連盟では、会員の先生方に、日頃の連盟活動について、ご理解とご協力を頂くため、連盟広報誌を再開することに致しました。昨年の参議院選挙では、候補者選定が遅れ、選挙期間が短くなってしまったこと、候補者の周知活動が徹底できなかったことなどの反省もありました。選挙の時だけでなく、平時より政治活動に興味を持っていただくと同時に、体制づくりを行う必要があり、さらには若手会員に政治活動に参加してほしいという願いもあり、連盟広報誌の再開に至りました。予算、制度、税制改正の実現、国政・県政選挙をはじめ各種選挙の支援など歯科医師会活動の目的達成のためには、どうしても政治力が必要であり、この政治力強化のために連盟活動を展開し行うことが必須となります。

今、大きな問題となっている金バラ高騰への対応も、日本歯科医師会とともに、日本歯科医師連盟は、多方面へ働き掛けを行い、条件が合えば、3か月に1度の臨時改定を行うこととなりました。診療報酬改定などについても、政治とは切り離せない部分があります。“医療政策は現場で具現化できなければ意味がない”という一貫した考えのもと、運命共同体である熊本県歯科医師会と緊密な連携をとり、目的・政策を共有し、役割分担を行っています。本連盟は、県民の皆様の健康を支える歯科医療制度を保持し、より良い医療環境を提供するという政策実現へ向けての実動部隊として法律、制度の面から、県行政等と幅広く交渉しています。その結果が多くの、委託事業や補助事業につながっており、県の歯科保健医療提供体制が充実してきています。

連盟活動をご支援ください

以前行ったアンケートでも「連盟は何をしているのか、よく知らない」といった声がありました。連盟活動を広報することによって、歯科医師会の政治活動面で、会員の先生方のご理解とご協力を頂き、熊本県歯科医師会の政策をさらにすすめ、県民の歯と口の健康を通じた、健康長寿の延伸につなげていきたいと考えています。連盟活動について、是非とも連盟会員の皆様方のご意見をお寄せください。



阿蘇の草原に紫色の可憐な花を咲かせるりんどう。NHKが全国的に「郷土の花」を選定した際に選ばれました。県内各地の山野の草地に自生し、阿蘇高原では10月頃から咲き始めます。



熊本県歯科医師連盟

伊藤 明彦

熊本県歯科医師連盟は、県民の皆様方の歯と口の健康を守るため、良質の歯科医療の提供はもとより、医療・保健・福祉の充実、発展を目指し、行政並びに議会に対して、熊本県歯科医師会が実施する事業の支援活動を行っています。より開かれた連盟を目指します。

E-mail
renmei@kuma8020.com



令和2年度熊本県歯科医師連盟臨時評議員会は6月20日(土)15:30から熊本県歯科医師会館4F大会議室にて開催予定です。

定時評議員会が大幅縮小して開催されました。

令和2年3月14日(土)午後4時 第1会議室

令和元年度通常評議員会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、評議員は書面決議が可能とし、大幅に縮小した評議員会となりました。渡辺猛連盟評議員議長、吉永連盟評議員副議長の進行によって、牧副会長の開会に続いて、議事録署名人選任では、熊本市の西野隆一評議員と林昭宏評議員が指名されました。物故会員への黙祷のあと、伊藤会長の挨拶となり、来賓予定の山田宏参議院議員と蒲島郁夫選挙

事務所の村田信一顧問(前熊本県副知事)の祝辞は中止、会務報告に入りました。牛島理事より庶務報告、鶴田副理事長より会計報告、安田監事より監査報告が行われました。その後、議事に入り、執行部より提出された各議案は、すべて原案どおり可決承認されました。

第1号議案 令和2年度熊本県歯科医師連盟地域政治活動助成費の支給(案)第2号議案 令和2年度熊本県歯科医師連

盟会費の額及び連盟会費の徴収方法(案)第3号議案 令和2年度熊本県歯科医師連盟事業計画(案)第4号議案 令和2年度熊本県歯科医師連盟会計収入支出予算(案)

第1号議案にあるように、地方においても、市町村議員や地域選出の県議会議員、国会議員との意見交換や懇談なども重要であるため、熊本県歯科医師連盟では郡市歯科医師会における連盟活動の充実のため、令和2年度より年8万円を2回にわけて、助成することとなりました。郡市歯科医師会においては、この助成金を有効に利用していただきたいとおもいます。



左から伊藤連盟会長、渡辺猛士連盟議長、吉永連盟副議長、牧連盟副会長、赤城連盟常任理事、甲斐田連盟常任理事

山田宏参議院議員と連盟活動に関する懇談会開催

3月13日(金)熊本県歯科医師連盟と熊本県歯科医師会役員が山田宏参議院議員との懇談会を開催し、参議院予算委員会での安倍総理への質問に関する内容など、多岐に渡る政治活動に関して、役員との意見交換が行われました。



山田宏
自由民主党 参議院議員
参議院自由民主党 副幹事長

3月13日(金)午後8時より、熊本県歯科医師連盟より、伊藤会長、浦田顧問(日歯連盟理事長)、牧副会長、牛島理事長、赤城常任理事、甲斐田常任理事、熊本県歯科医師会より椿副会長、宮井副会長、宇治常務理事が参加し、参議院議員山田宏氏と連盟活動に関する懇談会を熊本市内にて開催しました。本来14日の熊本県歯科医師連盟通常評議員会に来賓で出席し、政治活動報告をする予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大によって、評議員会は書面決議が可能な形として、大幅な縮小をして開催することとなったために、来賓挨拶も中止となりました。しかしながら、山田議員は翌日に長崎県で会合が予定されていることもあり、是非とも熊本県の先生方と懇談を深めたいとご希望で、懇談会のみ開催されました。

伊藤連盟会長の挨拶のあと、山田参議は、「平成28年の参議院選挙における歯科医師会からの応援のきっかけをつくってくれた、熊本は大切な場所、第2の故郷と思っている。そこで歯科医師会の先生方との意見交換は私の政治活動の基ともなっており、また大変熱意ある先生が多いので、大変楽しい時間が過ごせる」と挨拶されました。浦田連盟顧問(日歯連盟理事長)の乾杯の後、参加者と熱のこもった歯科情勢の改革などの役員からの意見に耳を傾け、自身の政治信条などを語って頂きました。本来もっと多くの会員の先生と交流していただきたかったが、コロナ禍の影響を考慮し、小規模な集会となったが、有意義な意見交換ができたと感じます。



連盟、本会役員に挨拶する山田宏参議院議員(熊本市内にて)

生涯にわたる歯科健診の制度化に努力したい

山田参議は、3月3日に開かれた参議院予算委員会で「全国民が年1回は歯科健診を受ける『全国民皆歯科健診制度』の実現を検討すべき」という質問に対して、安倍総理は「骨太の方針2019にも生涯を通じた歯科健診ということも書いてある。これは山田委員も含め皆様の強い主張も踏まえ、我々もそれが妥当と考え書き込んでいるところ。やはり口の中の健康は全身の健康にも極めて関わりの深いものでございますから、よく検討していきたい」と答弁された。と紹介され、今後は、昨年12月に発足した「国民皆歯科健診実現議連」(会長・古屋圭司代議士)の事務局長として、公約の実現に努めていくと熱弁されました。また、後援会に入会いただいている会員の先生方全員に、予算委員会の内容について収録したDVD動画を送付することとした。

熊本県歯科医師連盟のLINE
できました。LINEから友達登録
お願いします!

